

世界57カ国に広がるジョンソン・エンド・ジョンソングループでは、

## Community Responsibility

### 地域特有の問題の解決

#### アメリカ

##### アートを活用したヘルスケア

ジョンソン・エンド・ジョンソンはSociety for the Arts in Healthcareと共にアートを利用してよりよいヘルスケアを実現できないかと模索してきました。病気の患者がアートを通して自己表現することによって生きることを肯定し、自分自身の存在価値を見出すことは、患者のみならず患者と関わる家族や医療従事者にとっても有益な手段だと考えたからです。

2004年に寄付を行った20の「アートと治療プログラム」の一つが、16歳で亡くなったジャスティン君の訴えにちなんで名づけられた「I'm a Kid Tooプログラム」です。このプログラムは、レキシントン芸術文化協議会とケンタッキー大学が共同で始めたもので、深刻な病状にある子どもたちに治療や自己表現の手段として写真を用いて関わることで、また、医療従事者には、見える形で表現されたものを通して子どもたちの個別のニーズを把握するよう教育を行うことが盛り込まれています。



#### 台湾

##### 女性の充実した生活の実現

台湾のジョンソン・エンド・ジョンソングループは、2003年、「希望(Hope)基金」を設立しました。

これは貧困のために社会的に不利益を受けている女性たちの自立の一環として、認定ヘルパーの資格を得るための講座への参加を支援するものです。ヘルパーに認定された女性たちは、子どもや高齢者の世話、家事などでサポートを必要としている働く女性たちを助けます。ヘルパー養成講座に参加する女性たちの経済的な負担を軽減する目的で、授業料と生活費のための金利0%のローンも設けられ、参加者の数は増加し、女性たちはより高い収入が見込める仕事に就くことができました。希望(Hope)基金は「トレーニングを受けた女性が他の女性を援助できる地域社会を創造する」というゴールを掲げています。



## Children's Health

### 子どもたちの健康

#### パキスタン

##### 栄養不良防止プログラム

パキスタンでは、子どもの死亡の半数以上が栄養不良によるものです。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、Aga Khan Health Serviceと協働で子どもの栄養不良を予防するプログラムを行っています。このプログラムでは、母親と子どもがプライマリーヘルスケアサービスを受けやすい環境を作るとともに、地域社会に対して出産時の母親の死亡率を低下させるための情報やサービスを提供しています。地域を基盤とした協力体制と共同で行う病気管理によって、子どもの病的な状況を改善しています。



#### チェコ

##### 子どもを虐待から守るために

ジョンソン・エンド・ジョンソンは、地域社会全体の取り組みが子どもの虐待を防止し子どもの権利を守ることにつながるという理念のもと、過去10年間にわたりチェコにおいて子ども保護プログラムを展開し、児童保護教育研究所を支援しています。この研究所では、子どもの権利と虐待防止についての啓発のために、さまざまなアプローチが行われています。過去2年間で2,000人以上の子どもたちを対象にワークショップが開催され、暴力や性的な虐待など幅広いテーマがとり上げられました。また教師やソーシャルワーカー、警察官、その他子どもに関わる職業に就く人々を対象にトレーニングが実施されました。ロンドンの英国児童虐待防止協会(NSPCC)と共に行っている総合的なトレーニングは、子どもの保護における国際標準となっています。

# 会 員 活 動

主に5つの視点に基づき、それぞれの国や地域社会での問題解決に取り組んでいます。

## Access To Care

### 医療機会の提供

#### ブラジル

##### 親子への健康教育

INMED Partnerships for Childrenは、地域社会の健全な発展と、将来のある子どもたちへの健康教育を推進するために、1986年設立されました。INMEDの「健康な子ども、健康な未来(Healthy Children, Healthy Future)プログラム」では、病気の予防や栄養に関する教育、子どもたちの腸内寄生虫の駆除と栄養不良の治療、HIV/AIDSに関する知識の普及を行っています。ジョンソン・エンド・ジョンソンの支援によって、このプログラムは現在ブラジル全土で45万人以上の親子を対象に行われています。

2004年、INMEDはスイスのジュネーブで行われた寄生虫管理学会に招致され、寄生虫による疾病をどのように減少させたかについて発表の機会を与えられました。



#### インド

##### 貧困家庭の子どもたちへの医療支援

“笑顔で世界を変えよう”をスローガンに1999年に設立されたSmile Trainは、口唇口蓋裂で苦しむ世界中の数百万人の子どもたちを支援する組織です。55カ国以上で運営されているこのプログラムでは、発展途上国における数千人の子どもたちへの無償手術や15,000人以上にのぼる医療従事者への無償トレーニングを行ってきました。

インドでは毎年35,000人以上の口唇口蓋裂の子どもが生まれています。簡単な手術で治療できるにも関わらず、多くの家庭は貧しく、適切な医療ケアを受けられない子どもがたくさんいます。ジョンソン・エンド・ジョンソンは、Smile Trainに対して外科手術に必要な縫合糸を提供しています。



## Advancing Health Care Knowledge

### 医療従事者の育成・教育支援

#### アメリカ

##### 学校保健師の知識向上

ラトガース大学アルコール研究センターとの協働プログラムである「ジョンソン・エンド・ジョンソン学校保健師奨学金プログラム(School Nurse Fellowship Program)」は、17年間にわたり400人以上の学校保健師への教育を行ってきました。このプログラムでは、アルコールとドラッグの乱用、自殺、うつ病、10代の妊娠、肥満など幅広い課題について学びます。また、このプログラムの効果を実践につなげるために、参加者はそれぞれの学校特有のニーズに応えるプログラムを作成する費用の補助を受けることもできます。例えば、オハイオ州の学校保健師は、若年喫煙の有害性を伝えようと高校生たちを対象にした喫煙防止教育のプログラムを作成、実施し、生徒たち自身が喫煙防止の活動に取り組むことにつながりました。



## Global Public Health

### 世界的な保健問題への取り組み

#### アフリカ

##### HIV/AIDS啓発活動

Humana People to Peopleが南アフリカで行っているHIV/AIDS感染防止プログラムは、感染のリスクが高い地域でHIV/AIDSに関する啓発活動を行っています。全ての人々に情報が届くように各地域の担当官を育成し、地域の人々がHIV/AIDSの重大さについて話し合う機会を創出しています。2002年にジョンソン・エンド・ジョンソンは、南アフリカ ソウエトのブランフィッシャーズビルにおけるHIV/AIDS感染防止プログラムを支援しました。約56,000人が住むこの地域には社会的な設備が整っていないため、人々はほとんど医師の治療やケアを受けることができません。プログラムは3年間にわたって展開され、HIV/AIDSに直面したときに必要な情報や対応方法を地域の人々に提供しています。このプログラムは米国商工会議所によって“スターズ・オブ・アフリカ金賞”を授与されました。